

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2016年12月7日公開  
イスラエル軍、ダマスカスを攻撃！大量破壊兵器を標的に

.....  
シャローム！この24時間以内に起きた、大変重要なことについてお伝えします。

イスラエルがダマスカスのすぐ外側で、巨大武器庫を攻撃しました。そこはシリア空軍が所有する空軍基地の近くで、ダマスカス周辺一帯で最も保護されている場所です。情報は二つに分かれていて、1つは「イスラエルの戦闘機がロケット弾を発射した」というもの、もう一つは「イスラエルは今回、ベンダル山地域から地対地ミサイルを使った」というものです。私は後者の方が信ぴょう性が高いと思っています。ちなみにそこは、私たちもよく人々を案内するところで、ゴラン高原の上にある軍貯蔵庫です。

次に、なぜ今回の攻撃は先週のものとは違うのか？聖書預言を愛する皆さんにとって、どうしてこれがそんなに重要な事なのでしょう？

まず、ほんの2時間ほど前に、国防相のアヴィグドール・リーベルマン防衛大臣（極右政党「イスラエル我が家」党首）が、イスラエルの外国大使たちに「イスラエルがシリア国内で行っていることは全て、ヒズボラやISISが巧妙な武器に手を出すのを防ぐためである」と伝えました。そして今回、彼が「武器」というのに初めて使った言葉が「大量破壊兵器」でした。私もまさにその状況は知っていましたが、彼が「大量破壊兵器」という言葉まで使ったことに驚いたのです。これはもちろんイザヤ17章に繋がるわけです。これまでもずっとお伝えしてきた通り、ダマスカスの破壊について書かれたイザヤ17章が、エゼキエル38～39戦争が始まる前に起こるのです。私はそれがきっかけになると思っています。エゼキエル38章のメンバーはすでに配置についています。トルコ、ロシア、イランもシリア国内、イスラエルのすぐ側まで来ています。しかし、たとえそうであったとしても、ダマスカスが破壊されない限り、これらの国がイスラエルに来ることはありません。そして、私たちが今目にしているのは、イスラエルは、不正な人間たちがこの手の武器に手をかけるまで待ってられないということです。それから、大量破壊兵器の性質については、私たちはあまり触れてきていませんでした。彼らがそれを所有していることは知っています。また、私自身、ここで公表してはいけないと思っています。しかし、見ての通り、それほど多くの選択肢はなく、特別な核爆弾であるダーティ・ボム（汚染爆弾）か、または生物兵器か、化学兵器です。生物兵器、化学兵器については、我々はずっと以前から知っており、アサド政権がそれらをイラクから密輸したものです。また、アサド政権は塩素ガス、VXガス（神経ガスの一種）、サリンガスの製造もしていました。

しかし、どうやらゲームの流れを変える武器が到着した模様で、それには私たちは待ってい

ることが出来ず、攻撃しなければなりません。先週、我々はヒズボラに運搬されていた武器と、ダマスカスの外側にある別の武器庫を攻撃・破壊しました。そういうわけで、これは大変重要な攻撃についての、非常に重要なアップデートなのです。

メディアは絶対に伝えないでしょうし、海外のメディアも報道機関も、何が起きているのかは一切報道しないでしょう。しかしダマスカスの政府の沈黙は、2007年に我々が彼らの原子炉を攻撃した時と不気味なほどによく似ています。先週、彼らは一時間と待たずに「イスラエルが攻撃した」と発表しました。ところが今回は、我々が攻撃した物の性質と、そこに彼らが持っている物のために、彼らは黙っているのです。時として、彼らの沈黙こそが、攻撃した物が何であるかを物語っています。状況の深刻さや、どうして我々が待つことができなかつたかを証明しているのです。人々は、イスラエルがシリア内戦に関与していないことを理解していません。我々は市民を攻撃していませんし、アレッポで起こっていることについても何もしていません。我々は昼間には活動しておらず、アレッポを攻撃していないし、何にも触れていません。我々は夜間にするべきことを行います。それも、市民とは全く関係のないこと、反政府軍、政府軍とも全く関係のないことです。我々の対象は、イランや他の場所から運ばれている武器で、それらもいずれは我々イスラエルに向けられる目的のものです。つまりそれは、生物、化学兵器、さらには恐らく核兵器になるであろうものです。ですから、今回の攻撃は前回のとは違うということを理解しておくことは大切なのです。

私はとてもワクワクしています。というのは、いつも言っている通り、聖書預言についていくらかでも語る事が出来ますが、これらのことを目撃し、成就されつつあるのを見ると、これらがどれほど正確でタイムリーに起きているか、実に感動します。この次に何が起こるのか、非常に楽しみなのです。神はこれらのことをイザヤ(紀元前 742 年頃から 50 年ほど預言者として活動)とエゼキエル(紀元前 597 年のバビロン捕囚の際に連れて行かれ、その後預言者として活動)に明かされていたのです。彼ら預言者は、中東・世界情勢について学んだわけではありません。第 2 ペテロ 1:21 にはこう書かれています。

21 …預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのです。

(第 2 ペテロ 1:21)

聖霊がこれらの人々を使って、情報を伝えたのです。それから、当然、イザヤ書 46 章にはこうあります。

9 …わたしが神である。ほかにはいない。わたしのような神はいない。

10 わたしは、終わりのことを初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、…

(イザヤ書 46:9~10)

ですから、旧約聖書の預言者を通して、主はまだ起こっていないことを宣言されたのです。そして、私たちはそれを見てワクワクするのです。そんなわけで、皆さんはどうか戦い続け、歩み続け、祈り続け、主を捜し求めて、主に近づき、心を尽くして主に仕えましょう。今は終わりの時です。実際、第1ヨハネにはこう書かれています。

18 小さい者たちよ。今は終わりの時です。

(第1ヨハネ 2:18)

私はそうだと信じています。ヨーロッパが崩壊している様子を見ても…覚えていますか？ヨーロッパはダニエルが王の夢を解き明かしたときの像の足だと思います。(ダニエル書 2:1~49 を読んでください) その足は粘土と鉄で連合しないのです。彼らは分裂し、これが新しいローマ帝国、西ヨーロッパですが、これらは一致しないで分裂するのです。彼らは完全に一致しません。ヨーロッパで今起きていることは、イスラム教徒が原因で、人々は「もう、たくさんだ！」と言っています。こういったことが今後さらに様々な場所で起こってくるでしょう。

しかし、皆さんには引き続き祈り、正しい道を進んでくださるようお願いいたします。まもなく、素晴らしいことが起こるでしょうから。

それから皆さん、どうか毎週のニュースレターをご登録ください。Behold Israel のホームページからご登録できます。もう一つ、イスラエルでは土曜日の朝、アメリカでは金曜日の夕方、アジアでは土曜の午後、クリスマスのスペシャルメッセージをお届けします。これは聖書にかなったことなのか？クリスチャンはこれを祝うべきか？そうでないのか？とても面白く、また驚きのメッセージになるでしょう。

では土曜日にお会いしましょう。ガリラヤから、God bless you! シャローム! I love you! さようなら!

---

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読む

のが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

---

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO